

所 報

<Shoho>

川崎市総合教育センター

〒213-0001 川崎市高津区溝口 6-9-3

TEL 044-844-3600

代表メール 88csomu@city.kawasaki.jp

ホームページ https://kawasaki-edu.jp/

各学校の「魅力」を引き出すために

～社会に開かれた教育課程の実現に向けたカリキュラム・マネジメントの充実～

現在、各学校は4月に学校全体で共有した学校教育目標のもと、その実現のための教育活動が中間地点にきていることと思います。

現行の学習指導要領総則では、「社会に開かれた教育課程」の実現において、「主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善」と「カリキュラム・マネジメントの充実」が示されました。また、学校教育を通じて育成を目指す資質・能力は「知識・技能が習得されるようにすること」「思考力、判断力、表現力等を育成すること」「学びに向かう、人間性等を涵養する」ことであり、各学校全体で偏りなく育成されることが求められています。この資質・能力を育むためのカリキュラム・マネジメントとして、学習指導要領では、3つの側面を以下のように示しています。

- 1 教育の内容等を教科横断的な視点で組み立てていくこと
- 2 教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと
- 3 教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保すること

などを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくことを定義しています。

具体的に考えてみましょう。

例えば、地域の特産の野菜をテーマにした探究的な学習活動において、生産者へのインタビューや調べたことを国語で文章化し、算数、数学で収穫量や販売価格のデータの整理・分析を行い、理科で土壌や生育条件を考察するといったように複数の教科の知識・技能を関連させて活用するよう

にカリキュラムをデザインすれば、それは1の側面となります。

学習後、子どもたちの学びの状況や地域連携の成果を教育目標に照らし合わせて成果を評価し、次の課題につなげていけば、それは2の側面を行っていることとなります。



この学習活動に地域の人やその野菜についての歴史的な背景を教えてくれる人や、その野菜を栽培できる畑の確保などができれば、それは3の側面となります。

現在、中央教育審議会では、次期学習指導要領改訂に向けて議論が進む中、地域や家庭との連携・協働を促進しつつ、カリキュラム・マネジメントを実質化する方策が打ち出されています。また、各教科等やその目標・内容の在り方では、質の高い探究的な学びについても議論されています。

社会に開かれた教育課程の実現に向け、学校教育のDX化も含めて、各学校の「魅力」がより一層引き出されるとともに、子どもも教職員の「魅力」も引き出されることを切に願っています。

参考図書
 ぎょうせい 天笠 茂 著
 「新教育課程を創る 学校経営戦略
 カリキュラム・マネジメントの理論と実践」
 東洋館出版 田村学 編著
 「カリキュラム・マネジメント入門」

令和7年度『所報』第1号 主な内容

【巻頭言】

各学校の「魅力」を引き出すために 1	特別支援教育センター 4
カリキュラムセンター 2	教育相談センター 5
情報・視聴覚センター 3	研究推進校等一覧 6

カリキュラムセンター 事業・業務

目 標

- 1 学習指導要領に基づく教育課程の編成や教育活動の円滑な実施に向けた指導・支援の充実
- 2 教育課題への対応、施策研究、調査・基礎研究、教育実践に資する研究等の推進
- 3 教職員の資質や指導力向上を目指した研修の充実と研修推進体制の整備
- 4 各教科等研究会等との関連事業や各種教育課題関連事業等の円滑な実施
- 5 関係部署との連携と所内業務の効率的な執行

事業・業務

教育研究

教職員研修

学校支援

これからの時代を担う子どもたちに確かな学力など「生きる力」を育みます。そのために、学習指導要領、かわさき教育プラン等を踏まえて、教育諸課題に係る研究を行うとともに、研究成果を基に、教職員の資質・能力を高め、学校の指導体制を構築します。

具体的な事業・業務

目標の1～5に対する事業・業務の充実を図ります。

1 学習指導要領に基づく教育課程の編成や教育活動の円滑な実施に向けた指導・支援の充実

- ・拡大要請訪問等を通して、教育課程編成や授業改善の取組について学校支援を行います。
- ・教育課程研究会等において、教育課程編成、学習指導や学習評価に関する情報等の伝達をします。
- ・習熟の程度に応じたきめ細やかな指導に向けた支援を行います。

2 教育課題への対応、施策研究、調査・基礎研究、教育実践に資する研究等の推進

- ・学習状況調査の結果等を活用した学習指導等に関する研究を行います。
- ・各学校の教育実践に資する研究（長期研究員研究、指導主事と研究員による研究等）を推進します。
- ・GIGA 端末を効果的に活用した学習指導等に関する研究を行います。
- ・学校教育に関する調査・基礎研究を行います。

3 教職員の資質や指導力の向上を目指した研修の充実と研修推進体制の整備

- ・教職員育成指標に基づくライフステージに応じた必修・希望研修の充実を図ります。
- ・「学び続ける教職員のための資料」を作成し、その活用を推進します。
- ・川崎市の教員を目指す大学生等に向けた「かわさき教師塾『輝け☆明日の先生』」を開講します。

4 各教科等研究会等との関連事業や各種教育課題関連事業等の円滑な実施

- ・川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査、研究推進校事業等、学校経営に係る教育課題への対応をしていきます。
- ・各種教育課題に対する事業を実施します。
- ・人権尊重教育の推進を図ります。

5 関係部署との連携と所内業務の効率的な執行

- ・教育研究所連盟等に係る業務の円滑な推進を図ります。
- ・本庁組織や他局他課、大学等との連携を図ります。
- ・業務最適化アクションの視点に立った業務等の効率化と改善に努めます。



重点事業を設定し、チームで解決にあたります。

学力調査分析・活用

全国学力・学習状況調査、市学習状況調査の適切な分析と効果的な活用についての研究を進めます。

かわさき GIGA スクール構想推進

GIGA 端末を効果的に活用した学習指導等に関する研究及び指導力向上の支援を行います。



妥当性・信頼性のある学習評価

身に付けさせたい資質・能力を明確にし、適切な目標、授業展開のもと妥当性、信頼性のある学習評価の実施に向けた研究及び学校支援を行います。

学び続ける教員の育成

教職員の資質・能力の向上に関する、校内 OJT の活性化や主体的に学び続ける教職員の育成に係る研究及び研修の構築を図ります。

次期かわさき教育プラン策定に向けた探究的な学びの充実

各教科等における探究的な学びの充実に向けた研究を進めます。

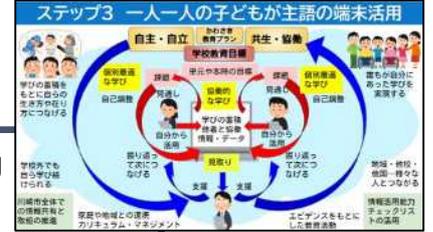
小・中学校「総則」「教育課程研究実践事例研究資料」の発行

- ・学習指導要領及びかわさき教育プランの理念・目標の実現に向けた教育課程編成や授業づくりに活用できる資料づくりに努めます。
 - ・これまで積み上げてきた教育実践の成果とともに、GIGA 端末の活用や川崎市学習状況調査結果の活用等、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善に向けた実践事例を掲載します。
- ※資料は、GIGA 端末のサイト及び SAINS - WEB に掲載されています。

情報活用能力の育成を目指します

情報・視聴覚センター 事業・業務

「川崎市立学校における教育の情報化推進計画」を基にした事務事業に取り組みます。



＜観点1＞
子どもたちの新しい学びを支える



↑掲載 web サイト二次元コード (上段：5分でわかる情報教育Q&A 下段：保護者向けインターネットガイド)

かわさき GIGA スクール構想^{※1}で導入された端末を効果的に活用し、児童生徒の情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するとともに各教科等で「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善をするための研究を進めていきます。

- 教育データの利活用の推進
- 授業における ICT 活用推進に向けた GSL 等の育成
- かわさき GIGA スクール構想推進のための研修の推進
- 「5分でわかる情報教育Q&A」^{※2}の活用等による情報モラル教育の充実・情報セキュリティの徹底
- 教育情報化推進モデル校、研究推進校、推進協力校、リーディングDXスクール指定校による教育の情報化及びかわさき GIGA スクール構想の推進
- 学習者用デジタル教科書、CBT 等の 1 人 1 台端末で利用するシステムの円滑な運用
- 「保護者向けインターネットガイド」^{※3}の作成・活用推進
- 川崎市立学校インターネット問題相談窓口の運営
- 長期研究員と研究員による研究「個別最適な学び（GIGA 端末活用）研究会議」

※1 かわさき GIGA スクール構想



※2 5分でわかる情報教育Q&A



※3 保護者向けインターネットガイド

＜観点2＞
教職員の業務効率化を支える

- 校務支援システム及び学務システム、認証システム等の円滑な運用と効果的な活用
- 企業との連携による教職員研修の充実
- 学校ウェブサイト等の充実への支援
- 「かわさき GIGA スクール構想教職員向けハンドブック」^{※4}の活用推進
- ICT に関する学校訪問サポート



※4 教職員向けハンドブック（ステップ0・1、2、3掲載 web サイト二次元コード）

＜観点3＞
ネットワーク環境及び ICT 環境の最適化

- SAINS-WEB 等ネットワーク活用による情報発信の充実
- システムやネットワーク端末の最適化のための調整・検討
- 学校のコンピュータ・ネットワークの再構成・最適化検討
- 情報セキュリティポリシーの運用の検討・周知
- かわさき GIGA スクール構想実現に伴う個人情報等の扱いに関するポリシーの改定・運用の検討、研修
- 学校教育用 ICT の整備の在り方検討
- WEB 会議システム (Meet、Zoom 等) の有効利用

視聴覚センター事業の推進 その他

- 視聴覚ライブラリーの運営
- 「わが町かわさき映像創作展」の充実
- 平和・人権教育教材の整備



特別支援教育センター 事業・業務

特別な教育的ニーズのある子どもの相談や支援の充実

特別な教育的ニーズのある子どもやその保護者、学校への適切な相談と必要な支援を行います。



一般教育相談

学習面、行動面、対人面等についての教育相談を行っています。子ども一人一人の教育的ニーズについて考えていきます。

就学・入級・進学相談

学校・療育相談機関等と連携しながら本人・保護者の意向や専門家の意見を聞き、適切な学びの場を提案していきます。

就学相談フォローアップ

学校コンサルテーション

学校の支援教育に関する支援の充実

インクルーシブ教育システムの構築を理念に、各学校の「児童生徒を支援する力」をさらに支えるよう支援教育課と連携し、各事業を推進します。



通級指導教室への支援

小・中 特別支援学級への支援



小・中・高等学校への支援



特別支援学校への支援

校内支援体制づくりの支援

- 通級指導教室センター的機能担当による学校支援
- 特別支援学校地域支援部センター的機能担当による学校支援（計画巡回訪問支援・要請訪問支援）
- 指導主事による学校訪問
- 児童生徒の学びにつながる1人1台端末の活用促進

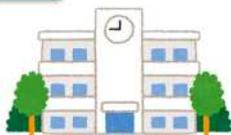
- 特別支援学級・特別支援学校担当者会
- 特別支援学級担任のためのハンドブックやサポートノートの活用促進
- 支援教育コーディネーター連絡会議
- 支援教育コーディネーター必携

特別支援教育に関わる研修の充実

校内研修として、指導主事等の派遣や講師紹介等、充実した校内研修の実現に向け学校を支援していきます。また、必修研修や希望研修を充実させ、教員のスキルアップにつながる機会を多く提供していきます。

必修研修

- 特別支援学級等新担任者研修
- 特別支援学級等新担任者2年目研修
- 支援教育コーディネーター研修
- 通級指導教室新担当者等研修



希望研修

- 特別支援教育Ⅰ「通常の学級での支援」
- 特別支援教育Ⅱ「特別支援学級・特別支援学校での支援」

特別支援教育に関わる研究の充実

長期研究員による研究

川崎市の「かわさき教育プラン」では、すべての子どもが個性を發揮できる教育を推進しています。特別支援教育センターでは、昨年度に引き続き、「特別支援学校・中学校特別支援学級・小学校特別支援学級における、個別最適な学び」を研究の軸におき、「令和の日本型学校教育」を特別支援の視点でどう構築していくかについて検証します。

総合教育センターに籍をおく長期研究員と、研究員を担う特別支援学校、中学校特別支援学級、小学校特別支援学級の教員が、協力して研究にあたります。研究を各学校の教育活動の充実に生かしていきます。

教育相談センター 事業・業務

教育相談

電話相談 [対象：小・中・高校生]



○電話相談（教育一般）○子ども専用電話相談
○24時間子供SOS電話相談 ○メール相談
相談者の名前や学校名を尋ねることはありませんので気軽に相談できます。24時間いつでも相談できる24時間子供SOS電話相談やメールでの教育相談もあります。

来所面接相談 [対象：小・中・高校生]

○溝口相談室・塚越相談室
心理臨床相談員との専門的な面接相談（予約制）です。令和6年度より原則学校からの申し込みとなりました。利用を希望の方は学校へご相談ください。※私立学校や直接申込をしたい方はお電話でも受け付けます。

スクールカウンセラー配置

[対象：中学校・高等学校]



スクールカウンセラーを市立中学校と高等学校全校に配置（年間294時間、中学校大規模校と全日制と定時制設置の高等学校は年間420時間）し、いじめ、不登校等の未然防止・早期発見・早期解決に向け相談活動等を行います。

学校巡回カウンセラー派遣

[対象：小学校・特別支援学校]



月2回程度、計画的に学校巡回カウンセラーを派遣し、児童生徒・保護者との相談活動を行います。また、支援教育コーディネーターと協力し、児童生徒の学校生活を支えます。

教育相談研修

教育相談の考えを生かしながら、児童生徒をより深く理解し、一人一人に寄り添った支援・指導をすることができる教員を養成するための研修を実施します。

- リクエスト研修
- 夏季希望研修
- 支援教育コーディネーター研修

不登校児童生徒への支援

ゆうゆう広場 [対象：小・中学生]

○みゆき ○さいわい ○なかはら
○たかつ ○たま ○あさお

市内6か所にゆうゆう広場（教育支援センター）を設置し、心理的な理由や、様々な事情から学校に行けないもしくは行きにくい子ども達に、個別学習や小集団による体験活動等、その子に合った学びの機会を提供しています。

不登校家庭訪問相談

[対象：小・中学生]

学校に行けない、あるいはほとんど外出できない状態の子どもを対象に、家庭訪問相談員が家庭を訪問します。相談だけでなく、子どもと一緒に、遊んだり、学習したり、興味のあることに取り組んだりしながら、子どもが自分らしく生活できるように、一緒に考えていきます。



不登校対策連絡会議

不登校対策に関わる施設や関係機関との連携を強化し、不登校児童生徒への支援の充実を図ります。

不登校児童生徒・高校中退者のための不登校相談会・進路情報説明会

中学校卒業後の進路情報提供、個別相談及び不登校経験者によるパネルディスカッション等を行います。

【R7 9/27（土）高津市民館】

研究

個別最適な学びについて教育相談的観点から研究し、不登校未然防止を中心とした校内の環境づくりやアプローチについて考え、主に教師による児童生徒の見取り方やかわり方など、学校内で活用できるよう研究をします。

- 長期研究員と研究員による研究

令和7年度 教育委員会研究推進校等一覧(4月1日現在)

総合教育センター

令和6・7年度 小学校各教科等

研究教科等	学校名
国語	住吉小学校
社会	御幸小学校
生活・総合的な学習の時間	大戸小学校

令和6・7年度 中学校各教科等

研究教科等	学校名
国語	東高津中学校
社会	宮前平中学校
数学	中原中学校
理科	宮崎中学校
音楽	生田中学校
美術	西生田中学校
保健体育	宮前平中学校
技術・家庭(技術分野)	日吉中学校
技術・家庭(家庭分野)	西高津中学校
外国語(英語)	東橋中学校
道徳	川崎高等学校附属中学校
総合的な学習の時間	麻生中学校
特別活動	長沢中学校

令和7・8年度 小学校各教科等

研究教科等	学校名
国語	末長小学校
社会	西菅小学校
算数	殿町小学校
音楽	宮前小学校
体育	登戸小学校
特別活動	戸手小学校

令和7・8年度 教育課題

研究教科等	学校名
高校教育	川崎総合科学高等学校
特別支援教育	中央支援学校

令和7・8年度 異校種間連携教育

研究教科等	学校名
異校種間連携中高連携教育	川崎高等学校 川崎高等学校附属中学校
異校種間連携高大連携教育	橘高等学校

令和7年度
かわさきGIGAスクール
構想推進協力校

学校名
旭町小学校
南河原小学校
新小倉小学校
高津小学校
上作延小学校
稲田小学校
川崎中学校
南河原中学校
日吉中学校
玉川中学校
井田中学校
東高津中学校
西高津中学校
有馬中学校
南菅中学校
田島支援桜校
幸高等学校

令和7年度
教育情報化推進モデル校

学校名
稲田小学校
南河原中学校

教育政策室

令和7年度
キャリア在り方生き方教育

学校名
南原小学校
南大師中学校

令和7年度
かわさき共生・共育プロ
グラム研究協力校

学校名
渡田小学校
東小倉小学校
宮内小学校
新作小学校
宮前平小学校
三田小学校
真福寺小学校
南大師中学校
日吉中学校
南加瀬中学校
平間中学校
東橋中学校
宮前平中学校
南菅中学校
柿生中学校
高津高等学校(全)
高津高等学校(定)

令和6・7年度

人権尊重教育(多文化共生教育)

学校名
子母口小学校
日吉中学校
川中島中学校

人権尊重教育実践推進校

学校名
さくら小学校
桜本中学校

学校教育部

令和7年度 学校防災教育

学校名	学校名
下平間小学校	富士見中学校
橘小学校	菅生中学校
生田小学校	田島支援学校桜校
南百合丘小学校	